

テクニカル・レポート

Dr. バシラス 茄子の観察

TT-003

2010/9/30

Dr. バシラス投入の茄子と未投入の茄子とで観察をする。
それぞれの茄子はDr. バシラスの投入以外はほぼ同一条件で育てるものとする。

- 1]4月末に種を植え苗木を育て、5月末に苗木を畑へ植える際
片方の畑の茄子には一つまみずつ株の根元にDr. バシラスを投入する。



- 2]Dr. バシラス投入後約3ヶ月経過(8月19日)の茄子の写真撮影



Dr. バシラス未投入の畑



Dr. バシラス投入済の畑

Dr. バシラス
未投入の畑で
育った茄子の

Dr. バシラス
投入済の畑で
育った茄子の



Dr. バシラス未
投入の畑で
育った茄子の



Dr. バシラス
投入済の畑で
育った茄子の

- 3]コメント

Dr. バシラスを投入した方の畑で育った茄子は、未投入のものに比べ明らかに成長に差がみられ、根は太く長くなっている。
また、9月29日時点で未投入の方では既に収穫が終わった状態から3週間経過しているが、投入した方に育つ茄子は今だに収穫が出来る。

- 4]考察

Dr. バシラスに含まれる微生物が土中の有機肥料分を分解、細分化することにより、植物の栄養の吸い上げが改善され植物の成長は促進される。